

第3期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第4回）の様態について

日本証券業協会

<会合の概要>

本協会は、2019年12月11日（水）、第3期 JSDA キャピタルマーケットフォーラム（第4回）を開催した。

第4回では、神田座長をはじめ合計21名の委員等が参加し、以下のとおり、2名の研究委員から中間発表が行われた。中間発表では、研究テーマの背景、研究テーマ候補からの変更点、各種分析から導き出された推定・推計の概要についての説明が行われた。

発表者：岩壺研究委員（神戸大学大学院経済学研究科教授）

研究テーマ：「外国人投資家の取引と東京株式市場の
価格形成」

ディスカッサント：植田研究委員（東京大学大学院
経済学研究科准教授）



発表者：植田研究委員（東京大学大学院
経済学研究科准教授）

共同研究者：仁智 氏（東京大学公共政策大学院
博士課程）

研究テーマ：「証券投資を行う家計の特徴」

ディスカッサント：岩壺研究委員（神戸大学
大学院 経済学研究科教授）

意見交換では、岩壺研究委員からの中間報告に対して、神田座長、ディスカッサントである植田研究委員をはじめとした各委員から、分析手法や推計結果に対する意見のほか、外国と比較した日本の証券投資の実態等について、活発に意見が交わされた。また、植田研究委員からの中間報告に対して、神田座長、ディスカッサントである岩壺研究委員をはじめとした各委員から、分析手法や推定結果に対する意見のほか、日本固有の家計事情や国内で販売されている金融商品が家計に与えている影響等について、活発に意見が交わされた。今後、両研究委員は、本会合における意見交換を踏まえ、論文完成を目指す予定である。

以上